

# 音楽アーティスト科 ギターコース 受講科目一覧 2年次

ギター総合専攻

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

45分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅱ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅱ（後期）	34	2	1
講義	業界知識Ⅱ	72	2	4
演習	共同演習Ⅱ	68	2	4
講義	音楽理論/調音Ⅱ	68	2	4
講義	音楽史Ⅱ	68	2	4
実習	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	68	2	2
実習	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	68	2	2
実習	歌唱/演奏実技Ⅱ	68	2	2
実習	サウンドアナライズⅡ	68	2	2
演習	アンサンブル基礎Ⅱ	68	2	4
演習	アンサンブル応用Ⅱ	68	2	4
実習	作品制作基礎Ⅱ	68	2	2
実習	作品制作応用Ⅱ	68	2	2
合計		888	26	38

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅡ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	業界知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム/サウンドクリエイター/ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス/アーティスト総合				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴					
授業概要	著作物の定義や著作権の権利及び著作隣接権について学び、それぞれの権利がどのような働きをしているのかを理解することが出来る。				
到達目標	音楽ビジネスの仕組みを知り、著作権にまつわる企業や団体がどのような役割を果たしているかを理解し、印税の仕組みや金額、著作権保護の条件や重要性についての理解を深める。				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	形のない知的財産について理解し、著作権を守る意義について理解する。 著作物の定義と著作物の種類を理解する 著作権の権利の内容を理解する 著作権の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ①
【前期】 4～7回目	著作権の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ② 著作隣接権の内容について理解する ① 著作隣接権の内容について理解する ② 音源の権利 原盤について理解する
【前期】 8～10回目	DVD視聴NHKスペシャル「知は誰のものか」インターネットにおける違法コピーと著作権の保護期間延長について 前回のDVDからの問題点のまとめ 著作権保護期間延長に関する作文 【作文提出】 音楽業界の基本構造① プロダクションの役割を理解する
【前期】 11～13回目	音楽業界の基本構造② レコード会社の役割を理解する 音楽業界の基本構造③ 音楽出版社の役割を理解する～著作権ビジネスの流れを理解する 音楽ビジネスの現状
【前期】 14～17回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 前期テスト実施 前期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
【後期】 18～20回目	JASRACの役割について理解を深める 著作権管理事業の現状 JASRACの使用料徴収の是非について自分の意見をまとめ【作文作成&提出】
【後期】 21～24回目	印税の仕組みがどのようにになっているか理解出来るようになる レーベルの収益について理解することができる。 リカーブラインについて理解することができる。 CD以外の著作権使用料① インタラクティブ配信
【後期】 25～27回目	CD以外の著作権使用料② 動画投稿サイト CD以外の著作権使用料③ 放送～カラオケ CD以外の著作権使用料④ 演奏/上演とレンタル 私的録音補償金
【後期】 28～30回目	著作物の利用に関して 著作物の利用手続きと所有権と著作権の違いを理解する 著作物の自由利用の範囲について理解を深める 著作権侵害の行為と罰則について理解を深める
【後期】 31～34回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 後期テスト実施 後期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	前期では著作権の基本的な知識と音楽業界の中心となるプロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割について学びます。 後期では主にJASRACの役割と印税について学びます。 JASRACに関しては、インターネット上で不確かな情報が飛び交っているのが現状ですが、自身で正しい判断が出来るような知識を身につけてください。 仕事内容の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。
備考	HRも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	分野別ゼミⅡ		授業形態 / 必選	演習	必修
	学則別表上表記	共同演習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックバンド「凶鑑」にてドリーミュージックよりアルバムを全国リリース</li> <li>・FREAK等、アーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン</li> </ul>				
<b>授業概要</b>					
主にパフォーマンスの歴史(音楽史、演劇史、芸能史、身体表現の歴史)を通してこれらの体系を理解することでアーティストとしての自らの在り方を探ると同時に、哲学などを学びながらそれらのエッセンスを加味することによりそれぞれの美学に立脚した活動を促す。					
<b>到達目標</b>					
オリジナルパフォーマンス、オリジナルアンサンブル、セッションワークなどの様々なパフォーマンスの理論を通してそれらコンテンツの基本構造を理解し、実際の表現学習の類型を体系的に捉えることにより知識量を飛躍的に向上させます。またプロフェッショナルへの入り口として技や演出力のレベルを上げ、実際のショービジネスの世界で通用しうるかのシビアな目線によって、より高度な表現方法への造詣を深め、且つ表現者としてそれらを体得していく。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	エンタテインメント作品とは歴史や人間性など人生哲学がダイレクトに投影されるという視点から様々な先人の類型を紐解きながらアーティストとしての生き様を討議などを交えて考え出していく。
【前期】 4～7回目	音楽の起源から中世・ルネッサンス、バロック、典派、ロマン、近代・現代の音楽と作曲家、また現代ポピュラーミュージックへ多大な影響を与えたアメリカンルーツミュージックの体系・系譜を学びそれらが現代音楽へ与える影響を推察する。
【前期】 8～10回目	日本の音楽史の中でポイントとなる雅楽、声明、琵琶楽、能、文楽、歌舞伎、地歌、箏曲、尺八などの演奏、発声、ステージシステムなどを体系的に理解しそれらが現代音楽へ与える影響を推察する。
【前期】 11～13回目	身体表現の歴史では舞踏やダンスは様々なスタイルの累積により進化し、過去から現代へと融合し、新たなムーブメントが生まれる。そのルーツやスタイルの系譜を見ながらそれぞれの表現の成り立ちを推察する。
【前期】 14～17回目	演劇の起源、古代ギリシア、宗教との関わり、シェイクスピアなどの劇作家の登場、貴族、大衆文化による発展など西洋演劇史と日本の古代から中世にかけての伎楽、猿楽、田楽、能、狂言など、また近世の歌舞伎、人形浄瑠璃などの在り方を学ぶ。 ■前期試験:筆記試験にて、前期で学習した内容の理解度を確認する。
【後期】 18～20回目	近世の歌舞伎役者から戦前戦後のテレビ、漫才、落語、コント、ドラマ、時代劇、マジック、ラジオなど大衆文化の担い手となったコンテンツが何故、人気を博したかの推察を行う。また、芸能事務所、エージェンツなどの担った役割も解説する。
【後期】 21～24回目	デジタル技術やインターネットの普及によって、パフォーマンス側が自らのイベント情報を発信し、直接オーディエンスやユーザーと繋がり、ダイレクトにビジネスを行なうことが可能な時代において自らが自分という商品のブランドを高め、且つビジネスの知識、業界の仕組みを知らないとセルフプロデュースを試みられないことから現代におけるプロデュース論を学習する。
【後期】 25～27回目	コンサートの企画・立案から運営まで、またステージにおける音響、照明、テック、ローディー、舞台監督など技術系スタッフの動きや役割などの全般理解を行い、多角的な視点でイベント運営を見つめられるようにする。
【後期】 28～30回目	民族交流や伝播による世界各地の思想・宗教・文学・歴史・民俗・美術・音楽などの発生を知ると同時に、新たな地域文化が生まれる際のメカニズムなどを推察していく。
【後期】 31～34回目	ビジネススキルとして対人関係、主にコミュニケーション、会話、交渉、プレゼンスキル、コーチングなど、また自己管理としてスケジュール、目標、タスク管理術を理解させ、一社会人として業界で活躍できるようにこれらの有効性を学習させる。 ■後期試験:筆記試験にて、後期で学習した内容の理解度を確認する。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	アーティストとして活動する為のノウハウ、音楽業界で活躍する為に必要な知識を習得し、自身の音楽活動に活かしてください。また、音楽業界に求められる人材として自己をアピールできるように、様々な教養を身につけていくことを目的としています。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	インプロヴィゼーション理論Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽理論/調音Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックバンド「図鑑」にてドリーミュージックよりアルバムを全国リリース</li> <li>・FREAK等、アーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン</li> </ul>				
授業概要	<p>セッションのスタンダード曲や幅広い楽曲を用い、実際に演奏することでセッションに慣れていきます。他パートとリアルタイムでやり取りし楽曲を作り上げていく楽しさを学びます。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲やジャンルにあわせたアドリブプレイを演奏できる。</li> <li>・他パートと楽曲を作り上げていくことができる。</li> <li>・楽曲に沿ったアドリブプレイ、バックアップができる。</li> <li>・他パートの音に注意し反応できる。</li> </ul>				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①】Pick Up the Pieces/アンサンブルでの練習、3種類のグルーブでのセッション。セッションを通しての課題修正。 【課題曲②】Run for Cover/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 4～7回目	【課題曲③】Run for Cover/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲④】Cissy Strut/アンサンブルでの練習、バンド全体でのグルーブの考察、ノリの共有。セッションを通しての課題修正。
【前期】 8～10回目	【課題曲⑤】Pieces/アンサンブルでの練習、セッションを通しての課題修正。【課題曲⑥】The Chicken/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 11～13回目	テストレビュー/前期テスト/【課題曲⑦】Sunny/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 14～17回目	前期まとめ ■前期試験:課題曲の演奏により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑧】City Living/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲⑨】Lay it Down/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 21～24回目	【課題曲⑩】Georgy Porgy/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲⑪】Crazy Race/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 25～27回目	【課題曲⑫】Just the Two of Us/アンサンブルでの練習、セッションを通しての課題修正。【課題曲⑬】Led Boots/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 28～30回目	【課題曲⑭】Led Boots/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。/テストレビュー/後期テスト/【課題曲⑮】Just Funky/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 31～34回目	年間まとめ ■後期試験:課題曲の演奏により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	当授業では、実際にバンドでどんどんセッションを回していきます。アンサンブルでは全員でリアルタイムで曲を作り上げていく感覚です。切磋琢磨し合い、即興演奏の楽しさを体感していきましょう。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	グループの歴史と体系Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽史Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	テレビCM「ビブレ」音源制作 ・LA☆CAPE「暗黙の了解」/作曲 また演奏においてはマイク・スターン、マーカス・ミラー、ポール・ジャクソンなど、世界で活躍するアーティストとも共演。				
<b>授業概要</b>					
様々なリズムを基調とした楽曲を用い、ロック・ファンク・ジャズ等、実際の曲それぞれのグルーヴを学んでいきます。リズムを演奏する、からグルーヴを生み出す、へ昇華していきます。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・より高度なリズムへの対応。</li> <li>・リズム感の向上。</li> <li>・グルーヴを感じられる演奏の習得。</li> <li>・楽曲に応じたグルーヴで演奏できる。</li> <li>・グルーヴを感じられる演奏ができる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①～③】Immigrant Song/sex machine/Isn't she Lovely/リズム、グルーヴの考察。テーマ、リフ、バックキンの練習。
【前期】 4～7回目	【課題曲④～⑥】I shot the sherrif/so what/Don't want you No more/リズム、グルーヴの考察。テーマ、リフ、バックキンの練習。
【前期】 8～10回目	【課題曲⑦～⑨】The Chicken/Long Train Running(house ver)/Moanin'/リズム、グルーヴの考察。テーマ、リフ、バックキンの練習。
【前期】 11～13回目	【課題曲⑨】Moanin'/リズム、グルーヴの考察。テーマ、リフ、バックキンの練習。/テストレビュー/前期テスト
【前期】 14～17回目	前期まとめ ■前期試験: 課題曲の演奏により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑩～⑪】Led Boots/Getaway/リズム、グルーヴの考察。テーマ、リフ、バックキンの練習。
【後期】 21～24回目	【課題曲⑫～⑭】Street Walkin' Woman/End of the Road/Take Five/リズム、グルーヴの考察。テーマ、リフ、バックキンの練習。
【後期】 25～27回目	【課題曲⑭～⑯】Take Five/Good Clean Fun/Don't You Worry bout A thing/リズム、グルーヴの考察。テーマ、リフ、バックキンの練習。
【後期】 28～30回目	【課題曲⑰】spain/リズム、グルーヴの考察。テーマ、リフ、バックキンの練習。/テストレビュー/後期テスト
【後期】 31～34回目	年間まとめ ■前期試験: 課題曲の演奏により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	楽譜通り演奏できる事も大事ですが、ノリの良い演奏をする為には楽曲やジャンルに対してより深い理解が必要です。楽譜に表現できない部分を感じ、演奏してみましょう。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	リズムギターバックギタリング/カッティングⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	テレビCM「ビブレ」音源制作 ・LA☆CAPE「暗黙の了解」/作曲 また演奏においてはマイク・スターン、マーカス・ミラー、ポール・ジャクソンなど、世界で活躍するアーティストとも共演。				
<b>授業概要</b>					
複雑なテンションコード、指盤上の度数の配置、様々なスタイルのストローク、理論も交えながらコードの応用を学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルなバックギタリングを考えることが出来る。</li> <li>・リズム良くコード進行が弾けるようになる。</li> <li>・コード理論を理解する。 ・楽曲のアレンジ等にコードを利用する。</li> <li>・楽曲のコード進行をアレンジ出来るようになる。</li> <li>・コードの成り立ちを理解することにより、キーの理解、作曲等に応用する。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①】楽曲の考察とリズムの把握、テーマ&バックギタリングの練習
【前期】 4～7回目	【課題曲①】テンションコードでのバックギタリング、フレーズ考察、Scale考察→フレーズ作成
【前期】 8～10回目	【課題曲①】アドリブプレイの様々なアプローチの考察、ポキキャブラリーを増やす。
【前期】 11～13回目	【課題曲②】楽曲の考察とリズムの把握、テーマ&バックギタリングの練習
【前期】 14～17回目	【課題曲②】テンションコードでのバックギタリング、コード進行の分析、Scale考察: Dominant Scaleの理解と使用 ■前期試験: 課題曲の演奏により「コードフォーム/コード進行の演奏」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲③】楽曲の考察とリズムの把握、テーマの練習
【後期】 21～24回目	【課題曲③】バックギタリングの練習、テンションコードでのバックギタリング
【後期】 25～27回目	【課題曲③】コード進行の分析、Scale考察→フレーズ作成
【後期】 28～30回目	【課題曲③】仕上げ: チェックを兼ねたSession形式の発表会
【後期】 31～34回目	年間まとめ、総復習 ■後期試験: 課題曲の演奏により「コードフォーム/コード進行の演奏」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「コードフォーム/コード進行の演奏」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	コードをしっかり弾けることはとても大切なことで、ギタリストはソロに注目しがちですが、演奏のほとんどはコードを弾くことです。理論や複雑なコードを学んでいくにつれ、多彩なバックギタリングが弾けるようになります。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	シングルストリングス&スケールⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥本亮、清水麻八子等、アーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン</li> <li>・流星群少女、茜つばき、初めてガールズ!、トキヲイキル等、アーティストのレコーディング時のバックアップミュージシャン</li> <li>その他、ギターに関する教則本やDVDを数多く手掛ける。</li> </ul>				
<b>授業概要</b>					
<p>これまで学んだスケールの熟成と新たなスケール知識の習得を目指す。また、様々な音楽スタイルでのリード演奏、メロディー作り、インプロヴィゼーションを可能にする。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノンダイアトニックを含むコード進行で使用できるスケール知識を理解する。</li> <li>・音楽スタイルの違いによるサウンドや演奏内容の変化を理解し、適切な演奏をする。</li> <li>・楽曲のコード進行や音楽スタイルを分析し、使用するスケールの選択ができる。</li> <li>・様々な音楽スタイルに対応できうる幅広い演奏技術と対応力を身につける。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	4種類のセブンスアルペジオの構造・ポジション・奏法を学ぶ(メジャーセブン、ドミナントセブン、マイナーセブン、マイナーセブント5)
【前期】 4～7回目	セブンス系アルペジオを組み合わせたフレージング、またスケールとセブンス系アルペジオの融合を学ぶ
【前期】 8～10回目	ノンダイアトニックコードを含むコードプログレッションを分析し、インプロヴィゼーションの手法を学ぶ
【前期】 11～13回目	生徒オリジナルのコード進行を作成し、その上でリードプレイを構築するトレーニング
【前期】 14～17回目	<p>前期総合復習</p> <p>■前期試験：課題曲の演奏により「スケールポジション把握 / リズムキープ / 正確なピッチ / 確実な発音 / 音楽的インプロヴィゼーション」の到達度を確認する。</p>
【後期】 18～20回目	メロディックマイナースケール、リディアドミナントスケールを学ぶ
【後期】 21～24回目	オルタードスケールを学ぶ、メロディックマイナー系スケールの活用法を分析
【後期】 25～27回目	デミニッシュ系アルペジオとスケール、ホールトーンスケールとクロマチックスケール、オーギュメントアルペジオを学ぶ
【後期】 28～30回目	様々なスケールの紹介と考え方
【後期】 31～34回目	<p>総合復習</p> <p>■後期試験：課題曲の演奏により「スケールポジション把握 / リズムキープ / 正確なピッチ / 確実な発音 / 音楽的インプロヴィゼーション」の到達度を確認する。</p>
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「スケールポジション把握 / リズムキープ / 正確なピッチ / 確実な発音 / 音楽的インプロヴィゼーション」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	世にある様々な楽曲はベーシックな理論・技術のみならず、それらをさらに発展させた多様な手法により生み出され演奏されています。さらに発展的な理論と技術を学び可能な限り準備しておくことで、いま現存する音楽はもちろん、これから生み出されていく新たな音楽にも対応しやすいでしょう。あるいはあなた自身自身が新しいものを生み出すための手助けにさえなるでしょう。
備考	使用教科書「Single Strings 2」

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アドバンスドギターⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏実技Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	自身のバンド「パノラマメロウ」で精力的な活動後、近年はメジャーアーティストのレコーディング参加やアイドルグループ楽曲へギターで参加している。これまでゴダイゴ 浅野孝己氏、直訳ロッカー 王様氏、ALLI氏なども共演。				
授業概要	実際の現場において要求度の高い実践テクニックや知識を学び、即戦力なミュージシャン力を身に着ける。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な課題曲内の特徴的なフレーズを学習し自身のボキャブラリーを増やす。</li> <li>・その時求められる演奏内容をシンプルな譜面から考えだし演奏する。</li> <li>・実際の現場でやり取りされている譜面への対応力が身につく。</li> <li>・幅広い音楽的価値観やアイデア、またそれを実行しうる技術が身につく。</li> </ul>				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	リズムのトレーニングと譜面上での理解、休符とロングトーンの音楽的解釈、ベンディングにおける音程理解と表記法歌唱を取り入れた高パフォーマンスなギター学習
【前期】 4～7回目	現場用譜面を使用した演奏・学習～①
【前期】 8～10回目	ピッキング&フィンガリングを音楽的に成熟させるトレーニング
【前期】 11～13回目	現場用譜面を使用した演奏・学習～②
【前期】 14～17回目	前期総合復習 ■前期試験:課題曲の演奏により「状況適応力 / 音楽的表現力 / 正確なピッチ / 確実な発音」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	現場用譜面を使用した演奏・学習～③
【後期】 21～24回目	ギタープレイ・エクステンション～①
【後期】 25～27回目	現場で通用する譜面作成を学ぶ
【後期】 28～30回目	ギタープレイ・エクステンション～②
【後期】 31～34回目	年間総合復習 ■後期試験:課題曲の演奏により「状況適応力 / 音楽的表現力 / 正確なピッチ / 確実な発音」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「状況適応力 / 音楽的表現力 / 正確なピッチ / 確実な発音」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	すでに修得した、あるいは現在学習中の理論や奏法は実際の楽曲上や現場で行われているセッション等で使えなければ宝の持ち腐れとなってしまいます。実際のライブやレコーディングで活用できるよう、自身が持っているアイデアを具現化する術を身につけましょう。
備考	使用参考書「ジャズスタンダード集」

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	グループアンサンブル実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	サウンドアナライズⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	テレビCM「ビブレ」音源制作 ・LA☆CAPE「暗黙の了解」/作曲 また演奏においてはマイク・スターン、マーカス・ミラー、ポール・ジャクソンなど、世界で活躍するアーティストとも共演。				
<b>授業概要</b>					
様々なリズムを基調とした楽曲を用い、ロック・ファンク・ジャズ等、実際の曲それぞれのグルーヴを学んでいきます。リズムを演奏する、からグルーヴを生み出す、へ昇華していきます。当授業ではアンサンブル形式で練習していきます。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・より高度なリズムへの対応。</li> <li>・リズム感の向上。</li> <li>・バンドで一体となってグルーヴする演奏の習得。</li> <li>・楽曲に応じたグルーヴで演奏できる。</li> <li>・一体感のある演奏ができる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①～③】Immigrant Song/sex machine/Isn't she Lovely/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【前期】 4～7回目	【課題曲④～⑥】I shot the sherrif/so what/Don't want you No more/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【前期】 8～10回目	【課題曲⑦～⑨】The Chicken/Long Train Running(house ver)/Moanin'/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【前期】 11～13回目	【課題曲⑨】Moanin'/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。/テストレビュー/前期テスト
【前期】 14～17回目	前期まとめ ■前期試験: 課題曲の演奏により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握 / 一体感 / チューニング」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑩～⑪】Led Boots/Getaway/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【後期】 21～24回目	【課題曲⑫～⑭】Street Walkin' Woman/End of the Road/Take Five/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【後期】 25～27回目	【課題曲⑭～⑯】Take Five/Good Clean Fun/Don't You Worry bout A thing/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【後期】 28～30回目	【課題曲⑰】spain/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。/テストレビュー/後期テスト
【後期】 31～34回目	年間まとめ ■後期試験: 課題曲の演奏により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握 / 一体感 / チューニング」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握 / 一体感 / チューニング」の6項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	バンド全体で一つのグルーヴを演奏することは難しいですが、グルーヴしているバンドの演奏の一体感は聴く人を高揚させ、動かすことができます。そんな演奏を目指して頑張ってみましょう。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブスタイル実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・奥本亮、清水麻八子等、アーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン ・流星群少女、茜つばき、初めてガールズ!、トキヲキル等、アーティストのレコーディング時のバックアップミュージシャン その他、ギターに関する教則本やDVDを数多く手掛ける。				
授業概要	幅の広い楽曲を用い、実際のライブ形式で演奏していきます。演奏技術の向上はもちろん、演奏だけでなくステージング、音響、照明など含めた総合的な演出まで考える力を養っていきます。				
到達目標	・魅せる演奏ができるようになる。 ・演奏だけでなく、ステージング、音響、照明などを含めた演出プランを考える力を習得する。 ・オーディエンスを意識した演奏ができる。 ・ステージング・音響・照明などを含めた演出を考えられる。				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲②】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。
【前期】 4～7回目	【課題曲②】ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲③】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。
【前期】 8～10回目	【課題曲③】ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。ライブウィークに向けた練習、アレンジ、演出プラン作成。
【前期】 11～13回目	ライブウィークでの発表。テストレビュー/前記テスト/【課題曲④】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。
【前期】 14～17回目	【課題曲④】アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。/前期まとめ ■前期試験:課題曲の演奏により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑤】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑥】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。
【後期】 21～24回目	【課題曲⑥】ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑦】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。
【後期】 25～27回目	【課題曲⑦】ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑧】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。
【後期】 28～30回目	【課題曲⑧】アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。テストレビュー/後期テスト/ライブウィークに向けた練習、アレンジ、演出プラン作成。
【後期】 31～34回目	年間まとめ ■後期試験:課題曲の演奏により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	皆さんが憧れるアーティストのライブには、演奏技術だけでなく様々な惹きつけられる要素があるはずです。ただ上手いだけの演奏ではなく、オーディエンスを沸かせるステージング、演出を考えていきましょう。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブパフォーマンス実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥本亮、清水麻八子等、アーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン</li> <li>・流星群少女、茜つばき、初めてガールズ!、トキヲキル等、アーティストのレコーディング時のバックアップミュージシャン</li> <li>その他、ギターに関する教則本やDVDを数多く手掛ける。</li> </ul>				
授業概要	<p>幅の広い楽曲を用い、実際のライブ形式で演奏していきます。ライブスタイル実習Ⅱの講義と合わせ、演奏技術の向上はもちろん、演奏だけでなくステージング、音響、照明などを含めた総合的な演出まで考える力を養っていきます。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライブスタイル実習Ⅱの講義をもとに、さらに魅せる演奏ができるようになる。</li> <li>・演奏だけでなく、ステージング、音響、照明などを含めた演出プランを考える力を習得する。</li> <li>・オーディエンスを意識した演奏ができる。</li> <li>・ステージング・音響・照明などを含めた演出を考えられる。</li> </ul>				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲②】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。
【前期】 4～7回目	【課題曲②】ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲③】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。
【前期】 8～10回目	【課題曲③】ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。ライブウィークに向けた練習、アレンジ、演出プラン作成。
【前期】 11～13回目	ライブウィークでの発表。テストレビュー/前記テスト/【課題曲④】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。
【前期】 14～17回目	【課題曲④】アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。/前期まとめ ■前期試験:課題曲の演奏により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑤】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑥】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。
【後期】 21～24回目	【課題曲⑥】ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑦】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。
【後期】 25～27回目	【課題曲⑦】ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑧】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。
【後期】 28～30回目	【課題曲⑧】アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。テストレビュー/後期テスト/ライブウィークに向けた練習、アレンジ、演出プラン作成。
【後期】 31～34回目	年間まとめ ■後期試験:課題曲の演奏により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	皆さんが憧れるアーティストのライブには、演奏技術だけでなく様々な惹きつけられる要素があるはずです。ただ上手いだけの演奏ではなく、オーディエンスを沸かせるステージング、演出を考えていきましょう。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オリジナルワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックバンド「図鑑」にてドリーミュージックよりアルバムを全国リリース</li> <li>・FREAK等、アーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン</li> </ul>				
<b>授業概要</b>					
<p>基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いに接続しながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンターテインメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。</li> <li>・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。</li> <li>・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。</li> <li>・チームワーク、協調性を養います。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験: 作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験: 作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを経験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティビティも存分に発揮してください。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックバンド「凶鑑」にてドリーミュージックよりアルバムを全国リリース</li> <li>・FREAK等、アーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン</li> </ul>				
<b>授業概要</b>					
<p>オリジナルワークⅡ同様、基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いにコンタクトしながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルワークⅡでの内容を更に応用し制作していきます。</li> <li>・エンターテインメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。</li> <li>・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。</li> <li>・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。</li> <li>・チームワーク、協調性を養います。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作りに上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを体験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティビティも存分に発揮してください。
備考	

# 音楽アーティスト科 ギターコース 受講科目一覧 2年次

ギター&クリエイター専攻

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

45分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅱ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅱ（後期）	34	2	1
講義	業界知識Ⅱ	72	2	4
演習	共同演習Ⅱ	68	2	4
講義	音楽理論/調音Ⅱ	68	2	4
講義	音楽史Ⅱ	68	2	4
実習	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	68	2	2
実習	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	68	2	2
実習	サウンドアナライズⅡ	68	2	2
演習	アンサンブル基礎Ⅱ	68	2	4
演習	アンサンブル応用Ⅱ	68	2	4
実習	DAW・DTM基礎Ⅱ	68	2	2
実習	作品制作基礎Ⅱ	68	2	2
実習	作品制作応用Ⅱ	68	2	2
合計		888	26	38

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅡ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	業界知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム/サウンドクリエイター/ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス/アーティスト総合				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	<input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
授業概要	著作物の定義や著作権の権利及び著作隣接権について学び、それぞれの権利がどのような働きをしているのかを理解することが出来る。				
到達目標	音楽ビジネスの仕組みを知り、著作権にまつわる企業や団体がどのような役割を果たしているかを理解し、印税の仕組みや金額、著作権保護の条件や重要性についての理解を深める。				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	形のない知的財産について理解し、著作権を守る意義について理解する。 著作物の定義と著作物の種類を理解する 著作権の権利の内容を理解する 著作権の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ①
【前期】 4～7回目	著作権の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ② 著作隣接権の内容について理解する ① 著作隣接権の内容について理解する ② 音源の権利 原盤について理解する
【前期】 8～10回目	DVD視聴NHKスペシャル「知は誰のものか」インターネットにおける違法コピーと著作権の保護期間延長について 前回のDVDからの問題点のまとめ 著作権保護期間延長に関する作文 【作文提出】 音楽業界の基本構造① プロダクションの役割を理解する
【前期】 11～13回目	音楽業界の基本構造② レコード会社の役割を理解する 音楽業界の基本構造③ 音楽出版社の役割を理解する～著作権ビジネスの流れを理解する 音楽ビジネスの現状
【前期】 14～17回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 前期テスト実施 前期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
【後期】 18～20回目	JASRACの役割について理解を深める 著作権管理事業の現状 JASRACの使用料徴収の是非について自分の意見をまとめ【作文作成&提出】
【後期】 21～24回目	印税の仕組みがどのようにになっているか理解出来るようになる レーベルの収益について理解することができる。 リカーブラインについて理解することができる。 CD以外の著作権使用料① インタラクティブ配信
【後期】 25～27回目	CD以外の著作権使用料② 動画投稿サイト CD以外の著作権使用料③ 放送～カラオケ CD以外の著作権使用料④ 演奏/上演とレンタル 私的録音補償金
【後期】 28～30回目	著作物の利用に関して 著作物の利用手続きと所有権と著作権の違いを理解する 著作物の自由利用の範囲について理解を深める 著作権侵害の行為と罰則について理解を深める
【後期】 31～34回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 後期テスト実施 後期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	前期では著作権の基本的な知識と音楽業界の中心となるプロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割について学びます。 後期では主にJASRACの役割と印税について学びます。 JASRACに関しては、インターネット上で不確かな情報が飛び交っているのが現状ですが、自身で正しい判断が出来るような知識を身につけてください。 仕事内容の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。
備考	HRも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	分野別ゼミⅡ		授業形態 / 必選	演習	必修
	学則別表上表記	共同演習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックバンド「図鑑」にてドリーミュージックよりアルバムを全国リリース</li> <li>・FREAK等、アーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン</li> </ul>				
<b>授業概要</b>					
主にパフォーマンスの歴史(音楽史、演劇史、芸能史、身体表現の歴史)を通してこれらの体系を理解することでアーティストとしての自らの在り方を探ると同時に、哲学などを学びながらそれらのエッセンスを加味することによりそれぞれの美学に立脚した活動を促す。					
<b>到達目標</b>					
オリジナルパフォーマンス、オリジナルアンサンブル、セッションワークなどの様々なパフォーマンスの理論を通してそれらコンテンツの基本構造を理解し、実際の表現学習の類型を体系的に捉えることにより知識量を飛躍的に向上させます。またプロフェッショナルへの入り口として技や演出力のレベルを上げ、実際のショービジネスの世界で通用しうかのシビアな目線によって、より高度な表現方法への造詣を深め、且つ表現者としてそれらを体得していく。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	エンタテインメント作品とは歴史や人間性など人生哲学がダイレクトに投影されるという視点から様々な先人の類型を紐解きながらアーティストとしての生き様を討議などを交えて考え出していく。
【前期】 4～7回目	音楽の起源から中世・ルネッサンス、バロック、典派、ロマン、近代・現代の音楽と作曲家、また現代ポピュラーミュージックへ多大な影響を与えたアメリカルーツミュージックの体系・系譜を学びそれらが現代音楽へ与える影響を推察する。
【前期】 8～10回目	日本の音楽史の中でポイントとなる雅楽、声明、琵琶楽、能、文楽、歌舞伎、地歌、箏曲、尺八などの演奏、発声、ステージシステムなどを体系的に理解しそれらが現代音楽へ与える影響を推察する。
【前期】 11～13回目	身体表現の歴史では舞踏やダンスは様々なスタイルの累積により進化し、過去から現代へと融合し、新たなムーブメントが生み出される。そのルーツやスタイルの系譜を見ながらそれぞれの表現の成り立ちを推察する。
【前期】 14～17回目	演劇の起源、古代ギリシア、宗教との関わり、シェイクスピアなどの劇作家の登場、貴族、大衆文化による発展など西洋演劇史と日本の古代から中世にかけての伎楽、猿楽、田楽、能、狂言など、また近世の歌舞伎、人形浄瑠璃などの在り方を学ぶ。 ■前期試験:筆記試験にて、前期で学習した内容の理解度を確認する。
【後期】 18～20回目	近世の歌舞伎役者から戦前戦後のテレビ、漫才、落語、コント、ドラマ、時代劇、マジック、ラジオなど大衆文化の担い手となったコンテンツが何故、人気を博したかの推察を行う。また、芸能事務所、エージェンツなどの担った役割も解説する。
【後期】 21～24回目	デジタル技術やインターネットの普及によって、パフォーマンス側が自らのイベント情報を発信し、直接オーディエンスやユーザーと繋がり、ダイレクトにビジネスを行なうことが可能な時代において自らが自分という商品のブランドを高め、且つビジネスの知識、業界の仕組みを知らないとセルフプロデュースを試みられないことから現代におけるプロデュース論を学習する。
【後期】 25～27回目	コンサートの企画・立案から運営まで、またステージにおける音響、照明、テック、ローディー、舞台監督など技術系スタッフの動きや役割などの全般理解を行い、多角的な視点でイベント運営を見つめられるようにする。
【後期】 28～30回目	民族交流や伝播による世界各地の思想・宗教・文学・歴史・民俗・美術・音楽などの発生を知ると同時に、新たな地域文化が生まれる際のメカニズムなどを推察していく。
【後期】 31～34回目	ビジネススキルとして対人関係、主にコミュニケーション、会話、交渉、プレゼンスキル、コーチングなど、また自己管理としてスケジュール、目標、タスク管理術を理解させ、一社会人として業界で活躍できるようにこれらの有効性を学習させる。 ■後期試験:筆記試験にて、後期で学習した内容の理解度を確認する。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	アーティストとして活動する為のノウハウ、音楽業界で活躍する為に必要な知識を習得し、自身の音楽活動に活かしてください。また、音楽業界に求められる人材として自己をアピールできるように、様々な教養を身につけていくことを目的としています。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	インプロヴィゼーション理論Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽理論/調音Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックバンド「図鑑」にてドリーミュージックよりアルバムを全国リリース</li> <li>・FREAK等、アーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン</li> </ul>				
授業概要	<p>セッションのスタンダード曲や幅広い楽曲を用い、実際に演奏することでセッションに慣れていきます。他パートとリアルタイムでやり取りし楽曲を作り上げていく楽しさを学びます。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲やジャンルにあわせたアドリブプレイを演奏できる。</li> <li>・他パートと楽曲を作り上げていくことができる。</li> <li>・楽曲に沿ったアドリブプレイ、バックアップができる。</li> <li>・他パートの音に注意し反応できる。</li> </ul>				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①】Pick Up the Pieces/アンサンブルでの練習、3種類のグルーブでのセッション。セッションを通しての課題修正。 【課題曲②】Run for Cover/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 4～7回目	【課題曲②】Run for Cover/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲③】Cissy Strut/アンサンブルでの練習、バンド全体でのグルーブの考察、ノリの共有。セッションを通しての課題修正。
【前期】 8～10回目	【課題曲④】Pieces/アンサンブルでの練習、セッションを通しての課題修正。【課題曲⑤】The Chicken/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 11～13回目	テストレビュー/前期テスト/【課題曲⑥】Sunny/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 14～17回目	前期まとめ ■前期試験:課題曲の演奏により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑦】City Living/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲⑧】Lay it Down/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 21～24回目	【課題曲⑨】Georgy Porgy/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲⑩】Crazy Race/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 25～27回目	【課題曲⑪】Just the Two of Us/アンサンブルでの練習、セッションを通しての課題修正。【課題曲⑫】Led Boots/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 28～30回目	【課題曲⑫】Led Boots/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。/テストレビュー/後期テスト/【課題曲⑬】Just Funky/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 31～34回目	年間まとめ ■後期試験:課題曲の演奏により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	当授業では、実際にバンドでどんどんセッションを回していきます。アンサンブルでは全員でリアルタイムで曲を作り上げていく感覚です。切磋琢磨し合い、即興演奏の楽しさを体感していきましょう。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	グループの歴史と体系Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽史Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックバンド「凶鑑」にてドリーミュージックよりアルバムを全国リリース</li> <li>・FREAK等、アーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン</li> </ul>				
<b>授業概要</b>					
<p>様々なリズムを基調とした楽曲を用い、ロック・ファンク・ジャズ等、実際の曲それぞれのグルーヴを学んでいきます。リズムを演奏する、からグルーヴを生み出す、へ昇華していきます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・より高度なリズムへの対応。</li> <li>・リズム感の向上。</li> <li>・グルーヴを感じられる演奏の習得。</li> <li>・楽曲に応じたグルーヴで演奏できる。</li> <li>・グルーヴを感じられる演奏ができる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①～③】Immigrant Song/sex machine/Isn't she Lovely/リズム、グルーヴの考察。テーマ、リフ、バックキングの練習。
【前期】 4～7回目	【課題曲④～⑥】I shot the sherrif/so what/Don't want you No more/リズム、グルーヴの考察。テーマ、リフ、バックキングの練習。
【前期】 8～10回目	【課題曲⑦～⑨】The Chicken/Long Train Running(house ver)/Moanin'/リズム、グルーヴの考察。テーマ、リフ、バックキングの練習。
【前期】 11～13回目	【課題曲⑨】Moanin'/リズム、グルーヴの考察。テーマ、リフ、バックキングの練習。/テストレビュー/前期テスト
【前期】 14～17回目	前期まとめ ■前期試験: 課題曲の演奏により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑩～⑪】Led Boots/Getaway/リズム、グルーヴの考察。テーマ、リフ、バックキングの練習。
【後期】 21～24回目	【課題曲⑫～⑭】Street Walkin' Woman/End of the Road/Take Five/リズム、グルーヴの考察。テーマ、リフ、バックキングの練習。
【後期】 25～27回目	【課題曲⑭～⑯】Take Five/Good Clean Fun/Don't You Worry bout A thing/リズム、グルーヴの考察。テーマ、リフ、バックキングの練習。
【後期】 28～30回目	【課題曲⑰】spain/リズム、グルーヴの考察。テーマ、リフ、バックキングの練習。/テストレビュー/後期テスト
【後期】 31～34回目	年間まとめ ■前期試験: 課題曲の演奏により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	楽譜通り演奏できる事も大事ですが、ノリの良い演奏をする為には楽曲やジャンルに対してより深い理解が必要です。楽譜に表現できない部分を感じ、演奏してみましょう。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	リズムギターバックギタリング/カッティングⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	テレビCM「ビブレ」音源制作 ・LA☆CAPE「暗黙の了解」/作曲 また演奏においてはマイク・スターン、マーカス・ミラー、ポール・ジャクソンなど、世界で活躍するアーティストとも共演。				
<b>授業概要</b>					
複雑なテンションコード、指盤上の度数の配置、様々なスタイルのストローク、理論も交えながらコードの応用を学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルなバックギタリングを考えることが出来る。</li> <li>・リズム良くコード進行が弾けるようになる。</li> <li>・コード理論を理解する。 ・楽曲のアレンジ等にコードを利用する。</li> <li>・楽曲のコード進行をアレンジ出来るようになる。</li> <li>・コードの成り立ちを理解することにより、キーの理解、作曲等に応用する。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①】楽曲の考察とリズムの把握、テーマ&バックギタリングの練習
【前期】 4～7回目	【課題曲①】テンションコードでのバックギタリング、フレーズ考察、Scale考察→フレーズ作成
【前期】 8～10回目	【課題曲①】アドリブプレイの様々なアプローチの考察、ポキキャブラリーを増やす。
【前期】 11～13回目	【課題曲②】楽曲の考察とリズムの把握、テーマ&バックギタリングの練習
【前期】 14～17回目	【課題曲②】テンションコードでのバックギタリング、コード進行のアナライズ、Scale考察: Dominant Scaleの理解と使用 ■前期試験: 課題曲の演奏により「コードフォーム/コード進行の演奏」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲③】楽曲の考察とリズムの把握、テーマの練習
【後期】 21～24回目	【課題曲③】バックギタリングの練習、テンションコードでのバックギタリング
【後期】 25～27回目	【課題曲③】コード進行のアナライズ、Scale考察→フレーズ作成
【後期】 28～30回目	【課題曲③】仕上げ: チェックを兼ねたSession形式の発表会
【後期】 31～34回目	年間まとめ、総復習 ■後期試験: 課題曲の演奏により「コードフォーム/コード進行の演奏」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「コードフォーム/コード進行の演奏」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	コードをしっかりと弾けることはとても大切なことで、ギタリストはソロに注目しがちですが、演奏のほとんどはコードを弾くことです。理論や複雑なコードを学んでいくにつれ、多彩なバックギタリングが弾けるようになります。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	シングルストリングス&スケールⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥本亮、清水麻八子等、アーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン</li> <li>・流星群少女、茜つばき、初めてガールズ!、トキヲイキル等、アーティストのレコーディング時のバックアップミュージシャン</li> <li>その他、ギターに関する教則本やDVDを数多く手掛ける。</li> </ul>				
授業概要	<p>これまで学んだスケールの熟成と新たなスケール知識の習得を目指す。また、様々な音楽スタイルでのリード演奏、メロディー作り、インプロヴィゼーションを可能にする。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノンダイアトニックを含むコード進行で使用できるスケール知識を理解する。</li> <li>・音楽スタイルの違いによるサウンドや演奏内容の変化を理解し、適切な演奏をする。</li> <li>・楽曲のコード進行や音楽スタイルを分析し、使用するスケールの選択ができる。</li> <li>・様々な音楽スタイルに対応できうる幅広い演奏技術と対応力を身につける。</li> </ul>				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	4種類のセブンスアルペジオの構造・ポジション・奏法を学ぶ(メジャーセブンス、ドミナントセブンス、マイナーセブンス、マイナーセブンス)
【前期】 4～7回目	セブンス系アルペジオを組み合わせたフレージング、またスケールとセブンス系アルペジオの融合を学ぶ
【前期】 8～10回目	ノンダイアトニックコードを含むコードプログレッションを分析し、インプロヴィゼーションの手法を学ぶ
【前期】 11～13回目	生徒オリジナルのコード進行を作成し、その上でリードプレイを構築するトレーニング
【前期】 14～17回目	<p>前期総合復習</p> <p>■前期試験:課題曲の演奏により「スケールポジション把握 / リズムキープ / 正確なピッチ / 確実な発音 / 音楽的インプロヴィゼーション」の到達度を確認する。</p>
【後期】 18～20回目	メロディックマイナースケール、リディアンドミナントスケールを学ぶ
【後期】 21～24回目	オルタードスケールを学ぶ、メロディックマイナー系スケールの活用法を分析
【後期】 25～27回目	ディミニッシュ系アルペジオとスケール、ホールトーンスケールとクロマチックスケール、オーギュメントアルペジオを学ぶ
【後期】 28～30回目	様々なスケールの紹介と考え方
【後期】 31～34回目	<p>総合復習</p> <p>■後期試験:課題曲の演奏により「スケールポジション把握 / リズムキープ / 正確なピッチ / 確実な発音 / 音楽的インプロヴィゼーション」の到達度を確認する。</p>
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「スケールポジション把握 / リズムキープ / 正確なピッチ / 確実な発音 / 音楽的インプロヴィゼーション」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	世にある様々な楽曲はベーシックな理論・技術のみならず、それらをさらに発展させた多様な手法により生み出され演奏されています。さらに発展的な理論と技術を学び可能な限り準備しておくことで、いま現存する音楽はもちろん、これから生み出されていく新たな音楽にも対応しやすいくでしょう。あるいはあなた自身が生み出すための手助けにさえるでしょう。
備考	使用教科書「Single Strings 2」

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	グループアンサンブル実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	サウンドアナライズⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	テレビCM「ビブレ」音源制作 ・LA☆CAPE「暗黙の了解」/作曲 また演奏においてはマイク・スターン、マーカス・ミラー、ポール・ジャクソンなど、世界で活躍するアーティストとも共演。				
<b>授業概要</b>					
様々なリズムを基調とした楽曲を用い、ロック・ファンク・ジャズ等、実際の曲それぞれのグルーヴを学んでいきます。リズムを演奏する、からグルーヴを生み出す、へ昇華していきます。当授業ではアンサンブル形式で練習していきます。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・より高度なリズムへの対応。</li> <li>・リズム感の向上。</li> <li>・バンドで一体となってグルーヴする演奏の習得。</li> <li>・楽曲に応じたグルーヴで演奏できる。</li> <li>・一体感のある演奏ができる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①～③】Immigrant Song/sex machine/Isn't she Lovely/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【前期】 4～7回目	【課題曲④～⑥】I shot the sherrif/so what/Don't want you No more/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【前期】 8～10回目	【課題曲⑦～⑨】The Chicken/Long Train Running(house ver)/Moanin'/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【前期】 11～13回目	【課題曲⑨】Moanin'/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。/テストレビュー/前期テスト
【前期】 14～17回目	前期まとめ ■前期試験: 課題曲の演奏により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握 / 一体感 / チューニング」の到達度を 確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑩～⑪】Led Boots/Getaway/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【後期】 21～24回目	【課題曲⑫～⑭】Street Walkin' Woman/End of the Road/Take Five/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【後期】 25～27回目	【課題曲⑭～⑯】Take Five/Good Clean Fun/Don't You Worry bout A thing/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。
【後期】 28～30回目	【課題曲⑰】spain/アンサンブル形式での練習、発表。グルーヴの研究。/テストレビュー/後期テスト
【後期】 31～34回目	年間まとめ ■後期試験: 課題曲の演奏により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握 / 一体感 / チューニング」の到達度を 確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / グルーヴ感 / ダイナミクス / 楽曲の把握 / 一体感 / チューニング」の6項目の到達度を 総合的に評価する。
学生へのメッセージ	バンド全体で一つのグルーヴを演奏することは難しいですが、グルーヴしているバンドの演奏の一体感は聴く人を高揚させ、 動かすことができます。そんな演奏を目指して頑張ってみましょう。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブスタイル実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・奥本亮、清水麻八子等、アーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン ・流星群少女、茜つばき、初めてガールズ!、トキヲキル等、アーティストのレコーディング時のバックアップミュージシャン その他、ギターに関する教則本やDVDを数多く手掛ける。				
<b>授業概要</b>					
幅の広い楽曲を用い、実際のライブ形式で演奏していきます。演奏技術の向上はもちろん、演奏だけでなくステージング、音響、照明など含めた総合的な演出まで考える力を養っていきます。					
<b>到達目標</b>					
・魅せる演奏ができるようになる。 ・演奏だけでなく、ステージング、音響、照明などを含めた演出プランを考える力を習得する。 ・オーディエンスを意識した演奏ができる。 ・ステージング・音響・照明などを含めた演出を考えられる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲②】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。
【前期】 4～7回目	【課題曲②】ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲③】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。
【前期】 8～10回目	【課題曲③】ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。ライブウィークに向けた練習、アレンジ、演出プラン作成。
【前期】 11～13回目	ライブウィークでの発表。テストレビュー/前記テスト/【課題曲④】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。
【前期】 14～17回目	【課題曲④】アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。/前期まとめ ■前期試験:課題曲の演奏により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑤】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑥】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。
【後期】 21～24回目	【課題曲⑥】ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑦】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。
【後期】 25～27回目	【課題曲⑦】ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑧】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。
【後期】 28～30回目	【課題曲⑧】アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。テストレビュー/後期テスト/ライブウィークに向けた練習、アレンジ、演出プラン作成。
【後期】 31～34回目	年間まとめ ■後期試験:課題曲の演奏により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	皆さんが憧れるアーティストのライブには、演奏技術だけでなく様々な惹きつけられる要素があるはずです。ただ上手いだけの演奏ではなく、オーディエンスを沸かせるステージング、演出を考えていきましょう。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブパフォーマンス実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥本亮、清水麻八子等、アーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン</li> <li>・流星群少女、茜つばき、初めてガールズ!、トキヲキル等、アーティストのレコーディング時のバックアップミュージシャン</li> <li>その他、ギターに関する教則本やDVDを数多く手掛ける。</li> </ul>				
授業概要	<p>幅の広い楽曲を用い、実際のライブ形式で演奏していきます。ライブスタイル実習Ⅱの講義と合わせ、演奏技術の向上はもちろん、演奏だけでなくステージング、音響、照明などを含めた総合的な演出まで考える力を養っていきます。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライブスタイル実習Ⅱの講義をもとに、さらに魅せる演奏ができるようになる。</li> <li>・演奏だけでなく、ステージング、音響、照明などを含めた演出プランを考える力を習得する。</li> <li>・オーディエンスを意識した演奏ができる。</li> <li>・ステージング・音響・照明などを含めた演出を考えられる。</li> </ul>				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲②】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。
【前期】 4～7回目	【課題曲②】ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲③】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。
【前期】 8～10回目	【課題曲③】ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。ライブウィークに向けた練習、アレンジ、演出プラン作成。
【前期】 11～13回目	ライブウィークでの発表。テストレビュー/前記テスト/【課題曲④】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。
【前期】 14～17回目	【課題曲④】アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。/前期まとめ ■前期試験:課題曲の演奏により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑤】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑥】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。
【後期】 21～24回目	【課題曲⑥】ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑦】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。音響・照明プロットの提出。
【後期】 25～27回目	【課題曲⑦】ライブホールでのリハーサル、発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。【課題曲⑧】テーマ・リフ・バックギング・ソロ・リズムの考察、練習。ボーカルを含めたアンサンブル形式での練習、アレンジ。
【後期】 28～30回目	【課題曲⑧】アンサンブルルームでの発表、撮影。映像を見ながらのディスカッション。テストレビュー/後期テスト/ライブウィークに向けた練習、アレンジ、演出プラン作成。
【後期】 31～34回目	年間まとめ ■後期試験:課題曲の演奏により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コミュニケーション / 楽曲の把握 / ダイナミクス / パフォーマンス」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	皆さんが憧れるアーティストのライブには、演奏技術だけでなく様々な惹きつけられる要素があるはずです。ただ上手いだけの演奏ではなく、オーディエンスを沸かせるステージング、演出を考えていきましょう。
備考	

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	DAW II		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	DAW・DTM基礎 II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	メタルバンド「ANOTHER STREAM」(アナザーストリーム)にてインディーズデビュー。国内外から様々な評価を得つつ2012年に脱退。 2013年よりレコーディングエンジニア・アレンジャーとしてのキャリアを開始し、メジャーアーティストを始め様々なアーティストのレコーディング、編曲などに参加。				
<b>授業概要</b>					
<p>作詞・作曲に必要なアイデアを増やす。メロディー作り。コード進行の構築。リズムの種類に対する理解。作文・ポエムにならないような歌詞作り 生徒自身で作成したオリジナル楽曲に対して編曲をする。編曲における各種楽器の理解、logicX及びPC(Mac)操作</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が作曲する作品の多くは偏ったジャンル、かつ狭い範囲で制作することが殆どである為、生徒が持ち合わせていない作詞作曲に関する知識、情報、テクニックを紹介し、センスの幅を広げてもらうこと。</li> <li>生徒本人が持つ個性を自覚し、その個性を武器として、卒業後もその個性を追求し、アーティストとして作品作りが出来るようにする。</li> <li>オリジナル曲をボイスメモ引き語りで完結させず、logicX上で管理し、自身のプロモーション活動及びアレンジャー委託用のヘッドアレンジを出来るようにする。</li> <li>logicXの操作習得、自身オリジナル曲のファイル管理、各楽器の役割アプローチを理解する。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ミディアムテンポで楽曲作成：イーブンやシャッフルの意識を再確認してもらう。作詞にて、景色と気持ちのバランス、慣用句の使いかた、固有名詞を入れるポイント
【前期】 4～7回目	アップテンポで楽曲制作：ハイテンポにおけるコードの適切な配置、ブレイクやキメなどのリズムの仕掛け作り。歌詞、ワードに対するポジティブとネガティブの切り分け、スピード感のある言葉とは。
【前期】 8～10回目	スローテンポ(バラード)で楽曲作成：バラードにおけるストリングスの使い方。1/16・1/32のクオンタイズの切り替え。6/8拍子で楽曲作成：スロー3連。logicXにて、テンポチェンジ、拍子チェンジのやり方
【前期】 11～13回目	マイナーkeyで楽曲制作：メジャースケール、マイナースケールのおさらい。ハーモニックマイナー、メロディックマイナー、マイナーペンタトニック。II m→Vの実践的な使い方。
【前期】 14～17回目	シャッフルビートで楽曲制作：8ビートシャッフル16ビートシャッフルの実践的な違い。I、△IV△7、VI mのトニックに関する解説と実践方法。「ラブソングのどこを切り取るのか？」について考えてみる ■前期試験：楽曲の制作により「作曲クオリティ/編曲の理解/DAW操作の理解/Mixクオリティ」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	ロックンロールで楽曲制作：ロックンロールの定義についての研究。ロックとロックンロールの違いについて、ギターとピアノのロックンロールアプローチの解説。歌詞：ライミングについて。母音を合わせるタイミングについて
【後期】 21～24回目	R&Bで楽曲制作：昨今のリズムアンドブルースについて、踊れるビートとはなにか？ベースとキックのシンクロについて再認識。音価、ノートOFFのコントロール。
【後期】 25～27回目	ボサノヴァで楽曲制作：ボサノヴァの文化について、J-Popにおけるボサノヴァの使われ方。ボサノヴァとサンバの違いについて理解する。モンツウノ奏法について。ウイスパーボイスなど、楽曲に合わせた発声を研究する。
【後期】 28～30回目	レゲエで楽曲制作：レゲエの歴史について。黒レゲエ、白レゲエの違い。裏拍、バックビートの使い方。ギターの音色について、クリーン、クランチ、オーバードライブ、ディストーション、ファズ。
【後期】 31～34回目	jazzで楽曲制作：ジャズの種類、ビックバンド、スタンダード、モダン、ビバップなど。スイングの概念について。モードスケール・オルタードスケールの実践的な使い方。セカンダリドミナントの実践的な使い方。 ■後期試験：楽曲の制作により「作曲クオリティ/編曲の理解/DAW操作の理解/Mixクオリティ」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「制作楽曲のクオリティ/制作意欲」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	とにかく作曲の数をこなすこと(アウトプット)も大切ですが、インプットも大切です。特にリファレンス曲がリファレンス曲たる所以を、しっかり分析することも行ってください。自身の楽曲を客観的に捉えられるようになること。主観も大切ですが、特に客観性の強化、世の中の感性と自身の感性との誤差を客観的に捉えられようになることが商業作家として重要な事項の一つになると思います。そのあたりを念頭にオリジナル曲作りに励んでください。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オリジナルワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックバンド「図鑑」にてドリーミュージックよりアルバムを全国リリース</li> <li>・FREAK等、アーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン</li> </ul>				
<b>授業概要</b>					
<p>基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いに接続しながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンターテインメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。</li> <li>・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。</li> <li>・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。</li> <li>・チームワーク、協調性を養います。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験: 作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験: 作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作り上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを経験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティビティも存分に発揮してください。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックバンド「凶鑑」にてドリーミュージックよりアルバムを全国リリース</li> <li>・FREAK等、アーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン</li> </ul>				
<b>授業概要</b>					
<p>オリジナルワークⅡ同様、基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いにコンタクトしながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナルワークⅡでの内容を更に応用し制作していきます。</li> <li>・エンターテインメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。</li> <li>・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。</li> <li>・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。</li> <li>・チームワーク、協調性を養います。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作りに上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを体験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティビティも存分に発揮してください。
備考	